

事業区分	文化芸術事業		育成創造事業				
事業名	鳥取県民文化会館フリースペース・コンサート自由空間音楽会						
目的・内容	<p>「劇場は街の広場である」とのコンセプトのもと、県民文化会館が文化の拠点として、県民にとって身近な施設となるため、クラシック等を中心とした生演奏のコンサートを会館のエントランスロビーであるフリースペースで行う。出演者は、県内で活動する優れた音楽団体、個人を実行委員会で決定し、県民に音楽活動者を広く紹介し、さらなる音楽活動の支援を目的とする。</p> <p>【基本方針】文化人口の拡大とレベルアップ 【事業の柱】県民が気軽に創造的自己表現ができるような会館施設の開放と事業参画の推進</p>						
開催日時	平成19年7月～平成20年3月の日・祝日 年11回開催		開演12:05 終演12:55				
会場	鳥取県立県民文化会館 フリースペース						
入場料・参加費 (友の会)	無料						
集客状況	入場者数	1,495名	設定席数	—			
事業費状況	予算額	収入	0円	支出	1,242,000円	収支比率	0%
	決算額	収入	0円	支出	907,505円	収支比率	0%
来場者アンケート (主なもの)	<p>《コンサートについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料で、小さい子供連れOKでこのような音楽を楽しめるのはとてもよいことだと思います。 ・日頃生の音楽に触れることの少ない者にとってこんな風に気軽に音楽に触れる機会がもっと沢山になって鳥取が音楽にあふれる町になるととてもうれしいです。 ・幼児は入場できないコンサートがほとんどなので、こういうコンサートがあると嬉しいです。 ・自由空間音楽会は皆に知られていないように思うので、もっと広報してほしい。 ・楽器の紹介や曲想などの説明や聴き所の紹介もあり、素人にも聴きやすいなじみ易い演奏会だと思います。 ・今まで和の演奏は興味なく、聴く前に拒否していましたが、偶然通りかかり、音色に引き寄せられ、楽しむというよりは、日々の迷いを忘れさせる癒しのひと時でした。 ・鑑賞者が少ないのは残念。もっとPRに力を入れて欲しい。 <p>《会場・設備・係員について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場が少し暑いです。もう少し風通しを良くするか、冷房をきかせるかすればよいと思います。 ・梨花ホールの子供たちのイベントがあったのか、会場がやかましくてせつかくの美しい演奏も残念でした。 ・音が響きすぎるため、細かく音を聞き取ることができなかった。ピアノと声楽の場としてはどうかと思う。 ・入り口付近だったので、ドアの開閉で寒かったのが難点でした。 						
1次評価 (内部)	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①県民の方に「気軽に良質な音楽を楽しむことができる」ということで、親しまれてきている。当会館の特徴付けにもつながる事業として今後とも継続的に実施、発展させていきたい。 ②上質なクラシック音楽を県民の演奏と運営により、手作りで行う本事業は、明らかに観賞者層の拡大へと繋がり、フリースペースの新しい顔として定着してきている。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①もう少し観客の幅や数を広げたい。 ②個別で行っているオーディションや公募制について、再度見直し、検討が必要。 						
財団評議員の 評価	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①可能な限り開催して欲しい。昼休みは自由空間音楽会に行こう、という習慣が県の文化度を高めると思う。 ②動いているお客様を聴衆として取り込もうと、工夫に富んだプログラムが考えられており、単に地元の演奏家の活動の支援だけではなく、その演奏家達の音楽的能力や、芸術性を高める役目を果たしていると思われる。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①この音楽会をさらに発展させるためには、もっと回数を多く開催することが必要。 ②開催は定期的な開催がよいと思う。(月の第何日曜日といった具合。) 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・財団全体としての「登録アーティスト制」を用い、一括してオーディションを行い、そのあと事業ごとにアーティストを振り分けるなどの制度の必要性の有無を検討する。 ・定期的な(毎月第何日曜日 など)開催、実施回数を検討する。 ・マスコミ関係の協力を得るなど、広報の方法を検討する。 						